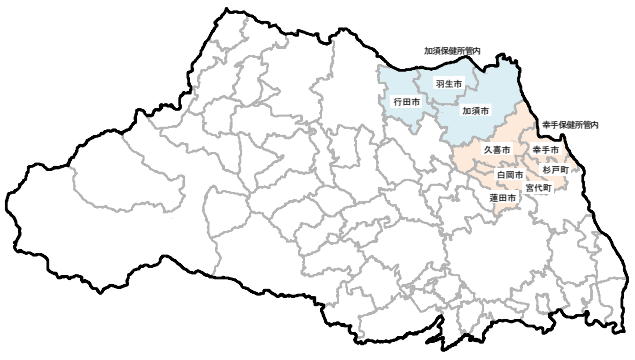


## 利根保健医療圏

	<b>【【圏域の基本指標】】</b> [ 県値 ] 人口総数 659,452 人 人口増加率 (H17～H22) ▲ 0.5% [ 2.0% ] 年齢3区分別人口 0～14歳 82,153 人 (12.5%) [13.3%] 15～64歳 431,971 人 (65.5%) [66.3%] 65歳～ 144,730 人 (22.0%) [20.4%] 出生率 (人口千対) 6.7 [ 8.2 ] 死亡率 (人口千対) 9.2 [ 8.1 ]
	保健所 加須保健所・幸手保健所 圏域 (市町村) 行田市・加須市・羽生市 久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町

### 【脳卒中医療】

#### 【目標】

プレホスピタル・ケアから急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。また、地域連携クリティカルパスを活用し、良質な医療の提供に努めます。さらに、地域住民へ脳卒中予防についての正しい知識の普及啓発を図ります。

#### 【主な取組】

- 高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実
- 医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタル・ケアの充実
- 地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備
- 脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供  
〈実施主体：医療機関、医師会、消防機関、医療保険者、市町、保健所〉

### 【糖尿病医療】

#### 【目標】

糖尿病予防のため、食生活を始めとした望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みを支援します。また、特定健康診査・特定保健指導を受ける人を増やします。さらに、糖尿病の重症化や合併症の発症を予防する診療所と病院の連携強化を支援します。

#### 【主な取組】

- 特定健診・保健指導の効果的な実施
- 糖尿病患者の教育プログラムの充実
- 糖尿病地域医療連携体制の構築
- 糖尿病治療及び保健指導を担う専門職の質の向上  
〈実施主体：医療機関、医師会、医療保険者、市町、保健所〉

### 【在宅医療】

#### 【目標】

高齢化社会の進展や、患者の生活の質 (QOL) の向上を重視した医療への期待により、医療のニーズは多様化しています。また、終末期においても自宅で療養を望む患者も多くいます。患者が安心して質の高い在宅医療を受けられる環境づくりが必要となってきます。それには、病院が提供できる医療をできる限り自宅で享受できることが重要となります。このため、病院、診療所、薬局、訪問看護ステーションなどが連携できる体制づくりに努めます。

#### 【主な取組】

- 在宅医療機関と入院医療機関の連携推進
- 医療と介護が連携した多職種協働の推進
- 地域完結型医療の推進  
〈実施主体：医療機関、医師会、薬剤師会、市町、保健所〉

### 【健康づくり対策】

#### 【目標】

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図ります。また、健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進めます。さらに、特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、効果的な保健指導を実施します。

#### 【主な取組】

- 健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発
- 民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進
- 生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進
- 地域、学校等における食育の推進  
〈実施主体：市町、保健所、医師会、薬剤師会、医療保険者、学校、教育委員会〉

### 【親と子の保健対策】

#### 【目標】

少子化、核家族化が進む中、地域のコミュニケーションの活性化を図り、若い子育て世代が気軽に相談や必要な支援を受けられるような地域社会を目指します。生後なるべく早い時期に家庭の状況を把握し、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぐと共に生活指導を行います。また、乳幼児健康診査のさらなる充実による育児支援、関係機関と連携した児童虐待の早期発見の機能を強化します。

#### 【主な取組】

- 生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援
- 育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実
- 子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実
- 関係機関の連携強化による子育て支援
- 休日・夜間における的確な小児科受診の啓発  
〈実施主体：市町、保健所、医師会、医療機関〉